

第 1 回外部評価委員会 議事概要

- ◆日時:2020 年 2 月 28 日(金) 14:30~15:00
- ◆場所:内閣府(中央合同庁舎 8 号館)
- ◆出席者:
外部評価委員:秋永委員、小原委員、須藤委員、土井委員、林委員
オブザーバ:上山 総合科学技術・イノベーション会議常勤議員
内閣府事務局

□FIRST/NEXT の追跡評価の進め方等についての議論 (※敬称略)

- 須藤委員:追跡評価を実施するならば、意味のある評価にしたい。十分な情報を収集・分析して、しっかりと評価すべきと考えるがスケジュール的に間に合うのか。
- 事務局:スケジュールはある程度柔軟に対応できる。
- 土井委員:NEXT は対象が絞られすぎて ICT が対象に入っていなかったのは残念である。
NEXT の追跡評価の結果は、創発的研究支援事業に限らず、他の事業にも生かしていく方針が良いと考えるが、その理解で良いか。
- 事務局:然り。
- 林委員:追跡調査において何を評価軸にして評価していくのか。研究費が倍になれば、論文はそれなりに出るはずなので、適切な評価軸の設定が必要である。
- 秋永委員:さきがけなど他事業との比較に関する追加調査が必要ではないか。
- 事務局:他事業に関してどのように調査するかは検討する。
- 林委員:NEXT に参加していない研究人材、いわゆる標準的な人材との比較がないので判断が難しい。例えば、次点で落ちた人と比べるのが良いがどうか？
- 事務局:標準的な人材との比較は可能なので、何らかの調査をしていきたい。
- 秋永委員:当初に重複受給制限があったので途中で中止するケースもあったので、重複受給制限を課題として問題提起してはどうか。
- 事務局:課題として取り上げたい。
- 林委員:科研費、JST 事業など、各メニューにおける NEXT 参加者の占有率を算出できないか。NEXT 参加者が日本を代表するビックプロジェクトで活躍していると評価できるのではないか。
- 事務局:他事業における占有率を調査したい。

□NEXT の支援を受けた研究者からのヒアリング ヒアリング／質疑応答(内容は非公開)